

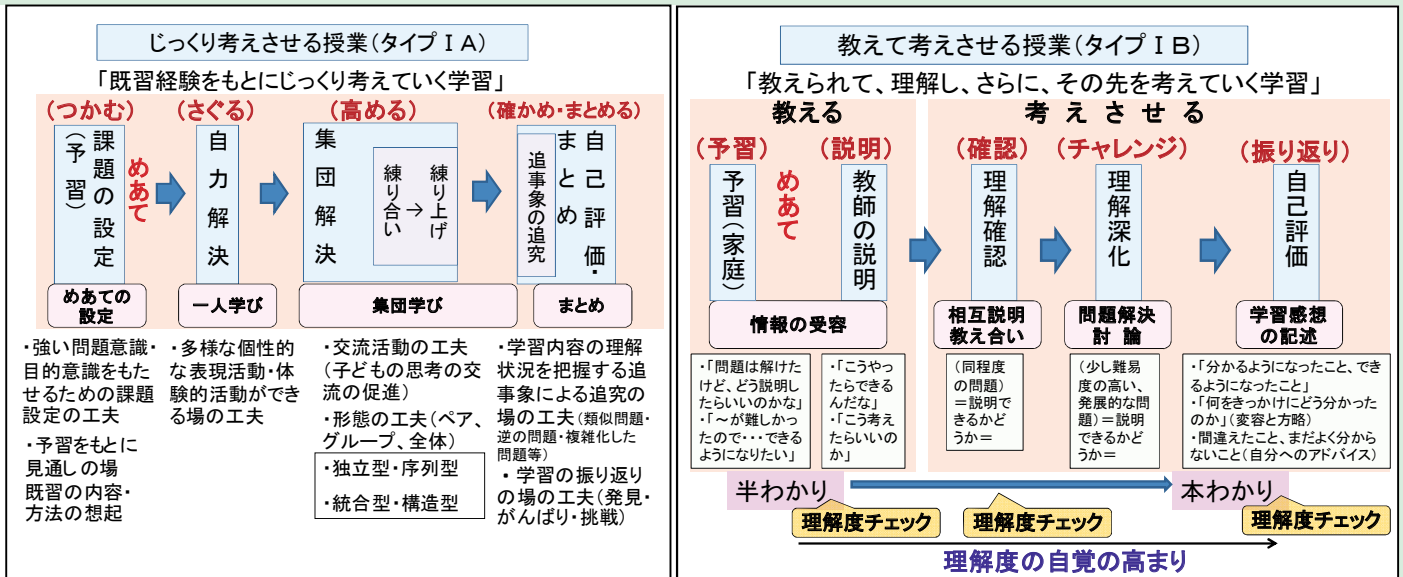
算数科における問題解決的な学習指導に関する研究

教職実践講座
教授
森 保之

キーワード

・問題解決 ・教えて考えさせる授業 ・じっくり考えさせる授業

研究シーズの説明 (私は、このような研究に取り組んでいます。)



私は、小学校の算数科の問題解決的な学習指導に関する研究を行っています。算数科で思考力・判断力・表現力を身につけるためには、問題解決的な学習指導は欠かせません。しかし、既習内容をもとに考えさせることを促しても、考えあぐねてしまう子どもが多く見られます。また、討論を通じて理解を深めさせたいと思っても他の子どもの発言の意味が理解できずに十分考えを深めることができないことが課題としてあげられています。そこで、私は、予習を取り入れ、問題解決的な学習を、「既習経験をもとにじっくり考えていく授業(Aタイプ)」と東京大学の市川伸一教授が提唱されている「教えて考えさせる授業(Bタイプ)」の2つのタイプで捉え、単元内でねらいに応じて位置づけることを提案しています。特に、Aタイプでの追事象やBタイプの発展的な事象の教材開発を行い、現場の先生方と授業実践を通して、検証をしています。

成果の応用可能性 (私の活動の成果は、このような分野にこのように貢献することができます。)

- 私の研究成果は、小学校算数科の校内研究や地域の研究会等で活用していただくことができます。
- 1 学校現場で日々の授業で問題解決的な授業を展開しようと考えるときに、「追事象や発展的な事象が思いつかない」や「どのように考えて教材を開発していけばいいのかわからない」という声を聞きます。私のこれまでの実践や教材を紹介しながら、アドバイスをすることができますと思います。
 - 2 学校現場で算数科を主題研究にあげて取り組んでいるところは、ほとんどが学力向上に関する研究がほとんどです。私の研究は、予習を取り入れた問題解決的な学習(先行学習)であり、学力向上につながるものですので、主題研究の研究構想づくりにも役立てることができると思います。

これまでの連携研究や社会貢献活動の実績

- 福岡県重点課題研究指定委嘱事業(学力向上)の研究発表会での指導講話(平成24年度～26年度)
- 福岡県内の小学校における校内研修の講師
- 福岡県内の算数科研究サークルでの講師